

投資事業評価調書(新規)

部課室名	街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	街路課長 玉田 尋三 (課長補佐兼街路係長 濱 浩二)	内線	4474 (4480)
事業種目	街路	事業名	事業区間	総事業費	約9億円
		都市計画道路 浜坂駅港湾線(芦屋工区)	美方郡新温泉町芦屋	内用地補償費	約8億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
美方郡新温泉町芦屋			H19年度	H19年度	H24年度
事業目的			事業内容		
<p>当該道路は、JR浜坂駅と浜坂港を結ぶ新温泉町における幹線道路である。</p> <p>今回、以下の目的から事業計画を行う。</p> <p>地域内の連携強化及び市街地の活性化</p> <p>本路線は、JR浜坂駅と浜坂港を結ぶ幹線道路であり、地域内の連携強化及び交流促進を図る。また、土地利用の促進を図り、良好な市街地形成に寄与する。</p> <p>防災機能の向上</p> <p>災害発生時には避難路として機能し、地域の防災機能の向上を図る。</p> <p>歩行者・自転車等の安全性向上</p> <p>広幅員の歩道の設置により、歩行者・自転車利用者等の安全性の向上を図る。</p>			<p>道路改築(拡幅) L=440m</p> <p>現況：2車線+1.5m片側歩道 W=5.5(8.0)</p> <p>計画：2車線+4.0m両側歩道 W=6.0(15.0)</p> <p>昭和25年 都市計画決定</p> <p>交通量(台/日)</p> <p>自動車</p> <p>現況：5,714台/12h (H17セカ)</p> <p>(7,657台/日(H17セカ))</p> <p>計画：7,519台/日(H42予測)</p> <p>歩行者：466人/12h (H18実測)</p> <p>自転車：275人/12h (H18実測)</p> <p>[負担割合 県0.5、市0.5]</p>		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 安全・安心	・現況の車道幅員は W=5.5mと狭く、防災機能を有していない。本路線は災害時における市街地の延焼防止の役割を担うとともに、消防活動等の救援・救護活動空間の確保や避難路として防災機能の向上を図る。				
地域の活性化	・新温泉町中心部においてJR浜坂駅、浜坂港を結び、また、国道178号等との連携によるネットワーク機能を強化し、地域の活性化を図る。				
快適性、ゆとり	<p>・沿線に小学校及び高等学校が立地しているにも関わらず、歩道が未整備、もしくは狭隘であり、歩行者・自転車等の安全確保が不十分である。そのため、W=3.0mの自転車歩行者道の整備により、歩行者、自転車利用者等の安全性の向上を図る。</p> <p>・当地区は、福祉のまちづくり重点地区に指定されており、バリアフリーに対応した歩道整備を行うことにより、高齢者や児童等に配慮している。</p>				
その他	・兵庫県の社会基盤プログラムに新規着手路線(H19年度からH24年度まで)に位置づけられている。				
(2)有効性・効率性	<p>・費用便益比 B / C = 1 . 8</p> <p>・臨港線、芦屋線、臨海線とのネットワークの連携により、交通の円滑化を図り、また、歩道整備による安全性向上を図ることにより、交通環境の改善を図ることができる。</p>				
(3)環境適合性	・歩道はゆとりある空間を確保し植樹と透水性舗装により、歩行者の利便性及び安全性に配慮している。				
(4)優先性	・本路線の整備によるネットワーク機能の強化や歩道整備による安全性の確保が不可欠であるため、早期に着手する必要がある。				